

NEWS

吉村敏男県議会活動報告
vol.18

風を通そう!

吉村敏男

福岡県議会議員
飯塚市桂川町選挙区

よしまらとこお



菅直人 民主党新代表と(1998年11月当時)

6月定例県議会は6月23日閉会、 来春の統一自治体選挙まで残り10ヶ月。

6月定例県議会は条例案6件など12の議案が提案され、6月23日に17日間の日程を終え閉会の予定です。総額1兆5900億円の平成22年度福岡県一般会計当初予算が2月議会で可決成立した直後の議会であり、補正予算の提案はありませんでしたが、景気対策として、昨年度(80%)に続き今年度も県公共事業の75%の9月までの前倒し執行が取り組まれることになっています。民主県政クラブは6月11日の代表質問で①政府が計画しているいわゆる「ひもつき補助金」を廃止しての「一括交付金」の制度設計の自治体側から見たあり方②高齢化により介護保険の利用者が増加し、介護保険料が増額されるなか、介護保険制度を維持するための今後の負担割合とサービス給付の内容など制度全体のあり方③4月1日から始まったコメ戸別所得補償モデル事業制度開始に係る課題④4月20日宮崎県で11年ぶりに発生が確認され国と県が、懸命の拡大防止対策を行っている口蹄疫の本県への流入防止の徹底⑤発症した場合の死亡率が高く、根本的な治療法も確立していない「成人T細胞白血病(ATL)」の妊婦検診の際の抗体検査の公費負担⑥新教育長が就任し、その所信と少人数学級推進に対する所見⑦全国初の「暴力団排除条例」の施行から2ヶ月が経過し、現在の県民への周知啓発の現状と、県下市町村での暴力団排除条例の制定促進等、当面する県政の重要課題について麻生知事の考えを質しました。

ところで麻生県政の四期目もあと10ヶ月を残すのみとなりました。15年におよぶ長期政権の中で、昨年暮れの副知事等県幹部の贈収賄・裏金接待疑惑が発覚しました。しかし、この問題への対応や、今議会の知事の答弁をみる限り、来春の県知事選への意欲は極めて高いように感じます。しかし、一方でこの間、県内総生産は全国8位~9位であるにもかかわらず、県民所得は15年前とほぼ同じで全国で26位~30位の間を行ったり来たりの状況です。知事選を10ヶ月後に控え県政の変革や刷新、福岡県の今後をどのように展望するのか、真剣に考える時期が近づいています。

追伸 昨年11月に民主党福岡県連幹事長に就任し、県議会民主県政クラブ会長と持ち場で8ヶ月が過ぎました。超多忙ですが、毎朝1時間の運動と年間約70日の休肝日を欠さず続け、忙しさを楽しみながら元気で頑張っています。



鳩山総理辞任

昨年9月16日の高揚感の中での鳩山内閣の発足からわずか260日余り。6月2日鳩山総理は、自らも含めた「政治とカネの問題」や「普天間問題の対応」の責任を取って辞任を表明しました。鳩山前総理の、沖縄の基地問題における「過酷な犠牲や負担を何とか軽減したい」と言う考えと「最低でも県外」としたその方向性は間違っていないと思います。であるだけに、日本の安全保障、それを担保するコストと基地のあり方など、時間がかかっ

ても根本的な問題を国民に問いかけ、その中から沖縄の基地負担の軽減を実現すべきであったのに、あまりに性急に目標の実現の可能性を示し、沖縄県民や国民の期待感を極限まで膨らませ、いとも簡単に「できなかったゴメンナサイ」と謝る。これでは誰も信用しません。鳩山総理の辞任表明は残念ではありましたが、普天間問題における対応が二転三転し、政治に対する国民の信頼をこれ程失墜させた以上、仕方がないことだと思います。

～政権交代後の政策の実現～

しかし、一方で鳩山前総理は民主党結党以来、「政権交代」と「政治改革」に全力を尽し、54年ぶりの本格的政権交代を実現しました。政権発足以降、自身も含めた「政治とカネの問題」や「普天間問題」などに翻弄され続けましたが、この間、

- ①公共事業予算の18%削減
 - ②社会保障(9.8%増)や教育(5.2%増)への重点配分
 - ③地方交付税の1.1兆円増額
 - ④生活保護の母子加算復活
 - ⑤雇用対策における非正規労働者の255万人の雇用保険の加入拡大など雇用の安定・セーフティネットの拡充
 - ⑥高校無償化(公立高校ベース)実現
 - ⑦農家の米を対象にした戸別所得補償モデル事業の実施
 - ⑧月額1万3千円の子ども手当の6月支給開始
 - ⑨事業仕分けによる独立行政法人や公益法人等の「ムダづかい構造」への切込み
- など、マニフェストで約束した多くの政策を

実現するか、実現にメドをつけました。まだやり方が確定しない、高速道路の原則無料化や実現できていないガソリンの暫定税率廃止の問題もありますが、発足からわずか8ヶ月半の内閣としては立派な実績だと思います。その功績に対しては心から敬意を表したいと思います。鳩山前総理、長年に亘りありがとうございました。お疲れ様でした。



△ KBCラジオ「中村もとき」の通勤ラジオ～管内閣への期待などについてインタビューに答える(6月7日)

菅内閣誕生

～故岩田順介衆議院議員の盟友～

鳩山総理の辞任を受け、6月8日に菅直人内閣が誕生しました。菅直人さんは民主党結成以来、今は亡き岩田順介さんの盟友です。また、新体制では民主党県連からは松本龍衆議院議員が引き続き両院議員総会議長に就任し、藤田一枝衆議院議員も国家戦略室スタッフに就任しました。「国民の生活が第一」の実現に向けぜひ力を発揮していただきたいと思います。今回の新内閣のスタートに際し野党から「政権のたらいまわし」との批判があります。しかし、郵政民営化を争点に大勝し、その後の安部、福田、麻生内閣と政権が変わった自民党と、民主党としてマニフェストで政策実現を国民と約束し、

また本格的な政権交代を求めた国民の意志によって実現した民主党政権とはその意味合いは若干違うと思います。民主党として約束したマニフェストの実現を目指す限り、私は今回の内閣の交代は国民に御理解いただけるのではないかと考えます。政権交代を求め、その役割を民主党に託していただいた国民の気持ちに何としても応えるため、新内閣には大きな責任と役割がもたらされることとなりますが、国民の期待と信頼を必ず取り戻すよう全力で頑張りたいと思います。

私たちが、もちろん地方から新内閣を全力で支える覚悟であることはいうまでもありません。

～小沢幹事長という人～

今回、鳩山総理と共に小沢幹事長も辞任しました。「政治とカネ」をめぐる国民の批判の嵐の中で、やむおえない結果だったと思います。しかし、小沢さんの自由党と旧民主党の合併により、政権交代の可能性が格段に高まったこと。そして、3年前の参院選における与野党逆転、昨年の衆議院選における民主党の圧勝は小沢さんの存在を抜きに考えることはできません。剛腕、辣腕、壊し屋など、色々な言い方をされ、企業献金も多額で、テレビ映りも悪く、本当はシャイなのにいつも強面のイメージばかりが強調されています。しかし、私が知っている小沢さんは、どんな話しにも耳を傾け、イヤな顔などせずひとつひとつの質問や意見に丁寧に答えるうえ、発言にブレがありません。数年前の心臓手術でお酒はお釣子1本と決められているのに、酒席ではさしつさされつ、まさに命を懸けて飲んでいるようにも見受けられました。何より私が立派だと思うのは、小沢さんは民主党の代表・幹事長時代を通じて、常に地方に出向き、



△ 民主党代表選についてのインタビュー(6月4日)

地方議員や地方組織、地方の団体と何回も何回も話し合う場を設けて地方の意見を汲み取ろうと努力したことです。私はかつてこんなにも地方に足を運んだ民主党のリーダーを知りません。確かに小沢さんは古いタイプの政治家だと思います。しかし、あの政治、政策に対するブレない信念は若い政治家も見習うべきです。私が知っている小沢さんとはそんな人です。

県発注工事からの暴力団と関係のある下請業者の排除

4月1日から本県では全国初の「暴力団排除条例」が施行されました。本県には全国最多の5つの指定暴力団が存在し、ここ数年は暴力団どうしの抗争事件や発砲事件が5年連続で全国最多となるなど、暴力団に対する県民の不安や暴力団一掃に向けた気運の高まりが条例制定の大きな原因です。この条例は暴力団への資金提供を断つことで暴力団の壊滅を目指すものですが、条例施行後、暴追リーダーや、資金提供を拒否する企業を狙った発砲事件が

連続に起きています。こうした卑劣な犯行を絶対に許さないため、5月22日には知事、北九州市長、県警本部長などによる「北九州地区工藤会対策トップ会議」が開催され、本県では暴力団への資金流入を阻止するため、県発注工事からの暴力団と関係ある下請業者の徹底排除のため、県の工事請負契約書の条項の改正を8月1日から施行することになりました。

ATL妊婦検査費用公費負担問題

ATL(成人T細胞白血病)とは、その原因となるウイルス(HTLV1)に感染し、引き起こされる難治性の血液がんの一種であり、感染した場合の生涯発症率は約5%と低いものの、発症した場合の平均生存期間は約13ヶ月と短く死亡率が高いうえ、根本的な治療法も発症予防法も確立しておらず発症すれば完治が難しい難病です。これまでATLの原因ウイルスは、九州の南西部などに多く存在することが知られていたことから、国は1990年当時、ATLを「風土病」と判断し、取り組みを地方自治体に委ね、「感染者は自然に消滅する」とし、対策を事実上放置してきました。しかし、感染者数がわずかな減少にとどまっていることや厚労省の特別研究班の最近の報告で全国の感染者の推定約108~120万人(同じ感染症のB型(150万人)、C型肝炎(150~200万人)とほぼ同じ)のうちほぼ半数が九州沖縄に集中していることなどから、本議会は一昨年の9月議

会で国に感染対策などを求める意見書を全会一致で採択しました。また国も昨年春の報告で、感染者が関東などの大都市圏でも増えていることが判明したことから、全国的な対策に取り組む考えを示しています。感染予防対策で重要とされる妊婦抗体検査(1人約900円)については、九州7県のうち長崎、鹿児島、宮崎、大分の各県が既に公費負担を実施、未実施の熊本県は「まず負担の実態調査」佐賀県は「公費負担を今後検討」と、それぞれ前向きな考えを示しているのに対し、本県では、わが会派の公費負担を求める代表質問に対し麻生知事は「すでに個人負担で約9割が受診している」ことを理由にゼロ回答。県内には推定6万7千人の感染者がいると言われていました。国も全員を対象にした検診の実施を検討中です。国が決めたからやるのではなく、今からでも、例え自己負担でも100%検診が実現するよう取り組むべきと思いますが、いかがですか。

政治主導の国政改革を福岡から

吉村敏男は大久保 勉(福岡選挙区)、えさき たかし(比例代表選挙)を応援します。

菅直人民主党新代表が首相に就任しました。菅首相の下で新生民主党は、市民が主役、国民の生活が第一の政策をさらに推し進めることとなります。私たちはその一員として

地域の声、現場の声を代表し、誰であっても安心して暮らしていける社会の実現に向けて全力で頑張り抜く決意です。皆さまのご支援よろしくお願いたします。

大久保 勉

福岡選挙区



行動力・実現力

1961年久留米市生まれ
1984年京都大学経済学部卒業
1984年東京銀行入行
1994年モルガン・スタンレー証券会社入社(マネージングディレクター)
2004年第20回参議院選挙福岡選挙区で初当選
現在:参議院財政金融委員会理事、決算委員会委員、経済同友会特別会員、福岡大学非常勤講師

えさき たかし

比例代表選挙



地域の声を政権に届けます

1956年三橋町(現柳川市)生まれ
1979年法政大学社会学部卒業
1979年三橋町役場入職
2007年三橋町職労書記長、自治労福岡県本部書記長などを経て自治労中央本部労働局長
現在:自治労中央本部特別執行委員(公務員制度改革担当)

参議院の比例代表選挙は名前を書く選挙です

参議院議員選挙は、県を単位とする「選挙区選挙」と、全国を単位として行われる「比例代表選挙」があります。「比例代表選挙」は、非拘束名簿方式で行われ、候補者名の得票と政党名の得票の合計で各政党の当選者数が配分されます。候補者の順位は、得票数の多い順となります。したがって、候補者の名前を書くことが重要になります。

●連合推薦等候補

組合名	名前	年齢	現・新
自治労	江崎 孝	53	新
UIゼンゼン同盟	柳沢 光美	61	現
自動車総連	直嶋 正行	64	現
電機連合	加藤 敏幸	60	現

組合名	名前	年齢	現・新
JAM	津田 弥太郎	57	現
日教組	那谷屋 正義	52	現
情報労連	石橋 通宏	44	新
J P 労組	難波 奨二	50	新
電力総連	小林 正夫	62	現
私鉄総連	板倉 一幸	58	新

●福岡県連所属全国比例候補

経歴	名前	年齢	現・新
元北九州市港湾空港局長	伊藤 和央	51	新
学校法人瑞聖学園理事長	村田 直治	66	新

PHOTO GRAFFITI 吉村敏男



▲ 県営藤波ダム竣工式(3月27日)



▲ 民主・県政クラブ、本県と友好親善協定を締結しているデリー市議会議長を訪問(1月28日)



▲ バンコク・スクムパン知事来県(議長室にて/2月26日)



▲ 県営三池港視察(大牟田市/5月10日)



▲ 産炭議連JR議連合同大阪視察(4月13日)



▲ 紫川復旧工事視察(2月9日)

吉村敏男 事務所

〒820-0082 飯塚市若菜52-1
Tel.0948(23)1210 Fax.0948(25)6071

お願い

個人情報保護法が施行され、個人情報の管理が厳しく制限されるようになりました。その結果、事務所として冠婚葬祭における祝電、弔電などが把握できず、大変失礼をいたしております。友人、知人、親族等の冠婚葬祭等がございましたら、ぜひ、御一報くださいますようお願いいたします。